

(案)

資料2

令和3年度及び中期目標評価に係る
公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果

令和4年8月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

目次

I 令和3年度及び中期目標評価に係る業務実績評価について…………… 1

II 評価結果

1 全体評価…………… 4

2 大項目別評価…………… 8

《公立大学法人福知山公立大学評価委員会委員》

区分	職名等	氏名
委員長	京都府立大学名誉教授	青山 公三 <small>あおやま こうぞう</small>
委員長職務代理	大阪公立大学 事務局次長	大久保 正明 <small>おおくぼ まさあき</small>
委員	社会保険労務士・行政書士 菊田学美事務所 所長	菊田 学美 <small>きくた まなみ</small>
委員	税理士法人藤原事務所 代表社員	藤原 健 <small>ふじわら たけし</small>
委員	学校法人淑徳学林 理事長	山口 剛 <small>やまぐち つよし</small>

I 令和3年度及び中期目標評価に係る業務実績評価について

公立大学法人福知山公立大学評価委員会は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第3項の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の令和3年度及び中期目標評価に係る業務の実績について、「公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針」、「公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領」及び「公立大学法人福知山公立大学に関する中期目標評価実施要領」により評価を行った。

1 評価に関する基本的な考え方

- （1）評価は、法人の教育研究の特性や運営の自主性、自立性に配慮して行うものとする。
- （2）評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の組織・業務運営等に関して総合的に行い、改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資するものとする。
- （3）評価は、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- （4）評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況やその成果をわかりやすく示し、市民への説明責任を果たすものとする。
- （5）評価方法については、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

2 評価方法

- （1）評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- （2）評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行った。
- （3）「項目別評価」は、「小項目別評価」及び「大項目別評価」により行った。

小項目別評価

年度計画（中期計画）の記載項目（小項目）ごとの進捗状況又は実施状況を確認し、評価を行った。

評価	進捗状況（実施状況）
5	年度計画（中期計画）を大幅に上回って実施している（特に優れる若しくは顕著な成果がある）
4	年度計画（中期計画）を上回って実施している（上回る若しくは十分な実施状況）
3	年度計画（中期計画）を概ね実施している（実施）
2	年度計画（中期計画）を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
1	年度計画（中期計画）を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

大項目別評価

小項目別評価の結果を踏まえ、6つの大項目（8区分）ごとに、中期計画（中期目標）の進捗状況について評価を行った。

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
③地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
(4) 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置
(5) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置
(6) 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

評価	評価基準	判断の目安
S	中期計画（中期目標）の達成に向け特筆すべき進捗状況である。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が4.3以上であり、かつ、業務の進捗状況や特記事項の内容に特筆すべき進捗や取組みがあると評価委員会が認める場合。
A	中期計画（中期目標）の達成に向け順調に進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「A」相当と認める場合。
B	中期計画（中期目標）の達成に向け概ね順調に進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「B」相当と認める場合。
C	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が遅れている。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「C」相当と認める場合。
D	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.8以下であり、中期計画の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が認める場合。

全 体 評 価

「項目別評価」の結果を踏まえ、法人の中期計画（中期目標）の達成に向けた業務の進捗状況を総合的に勘案して評価を行った。

評価	評価基準
S	中期計画（中期目標）の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
A	中期計画（中期目標）の達成に向け順調に進捗している。
B	中期計画（中期目標）の達成に向け概ね順調に進捗している。
C	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が遅れている。
D	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

Ⅱ 評価結果

1 全体評価

法人は、教育のまち福知山における「知の拠点」として、地方独立行政法人法（平成15年法律第119号）に基づき、福知山公立大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的としている。

(1) 令和3年度評価結果

令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

(2) 総評

第1期中期目標期間最後の事業年度となる令和3年度実績の特筆すべき事項として

- ①令和6年度の大学院修士課程の設置に向けて構想の具体化を進め、施設整備においても、福知山市とともに教育研究環境の充実のための基本設計及び実施設計を完了させたこと。
 - ②新型コロナウイルス感染症への対応として、生活に困窮する学生に向けた独自の緊急授業料減免制度や貸付制度を継続運用するとともに、100円食堂の実施や学生アシスタントの積極採用など修学支援全般の充実を図ったこと。
 - ③新たに附属機関として地域防災研究センターと国際センターを設置した。地域防災研究センターでは、マサチューセッツ工科大学（MIT）・福知山市と共同で災害対応リスクマップ開発のプロジェクトを立ち上げた。国際センターでは、地域の国際交流活動への協力と、短期留学プログラムの設置まで進めたこと。
- などが挙げられる。

以上のような状況や、6つの大項目の8区分中7区分が「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）、1区分が「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）となっている状況を総合的に勘案し、全体評価は、「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）と評価する。

令和6年度の大学院の設置や「福知山モデル」の実現に向けた地域連携の取組など今後の大学の発展にとって欠かせない事業を着実に進めていくことが必要であり、それに伴い業務量の増加が見込まれる。厳しい財政状況であることから業務の効率化を図っていただきたいが、教職員に過度の負担が増えるようであれば教職員等の増員を含めて、検討いただきたい。

【令和3年度 大項目別評価結果】

大項目	評定				
	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況である	順調に進捗している	概ね順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置			○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置		○			
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置			○		
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置			○		
自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置			○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置			○		
福知山市の規則で定める業務運営に関する事項			○		

(2) 中期目標評価結果

中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

中期目標評価における特筆すべき事項として

- ① 公立化1年目に全学を挙げて（公財）大学基準協会の認証評価の受審に臨み、平成29年度に「適合」認定を受けたこと。
 - ② 平成29年度に福知山市が策定した「知の拠点」整備構想に基づき、情報学部の設置と定員200人を令和2年度に1年前倒しで実現したこと。
 - ③ 独自の授業料減免制度や貸付金制度の創設のほか、授業料納付期限の延期、各種相談体制や食堂の充実、学生のアシスタントの積極活用など就学支援全般の強化を図ったこと。
 - ④ 多世代に向けた情報人材育成や小中学校のデジタル教育プログラムの共同開発に取り組むなど、地域における大学の存在感が高まったこと。
- などが挙げられる。

以上のような状況や、6つの大項目の8区分中2区分が「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）、6区分が「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）となっている状況を総合的に勘案し、全体評価は、「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）と評価する。

一方で、これより福知山公立大学は北近畿の「知の拠点」として真の意味で魅力ある質の高い大学になることが求められる。文理2つの学部に加え大学院を抱えて800名を超える学生の教育研究活動の質保証、第2期中期目標に掲げた「福知山モデル」実現のための高度な地域連携など、北近畿地域、ひいては全国から求められる水準が第1期中期目標期間のそれと大きく変容する。

こうした背景を踏まえ、キャンパスの拡張、教育施設設備の充実、学生の満足度を高める厚生施設整備など、中長期展望に立ったキャンパス整備構想のもとでのさらなる教育研究環境の充実が不可欠である。

また、他大学に比べ教員数、職員数は依然として少ない。労務負担の改善だけでなく教育研究の質保証の観点からも、計画的な教職員の増員に取り組むことが重要である。

これらの取組は大学単独でできるものではなく、福知山市と大学がしっかり連携して取り組まれない。

【中期目標 大項目別評価結果】

大項目	評定				
	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況である	順調に進捗している	概ね順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置		○			
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置		○			
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置		○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置		○			
自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置		○			
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置			○		
福知山市の規則で定める業務運営に関する事項		○			

2 大項目別評価

第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

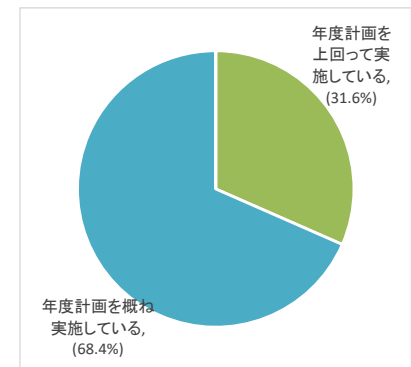
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.3

(1) 評価理由

小項目別評価は下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	19	0	6	13	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(31.6%)	(68.4%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 地域協働型教育の理念のもと、情報学部では、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に採択されるなど、特色あるカリキュラムを提供し、地域経営学部では、インターンシップ、各種実習科目を開講することにより、地域社会の課題解決が行える人材育成を実現している。
- 毎年2回、授業評価アンケートを全ての授業に実施することで授業の質向上に取り組むとともに、教員相互の授業参観を実施することで指導技術の向上を図る機会も設けている。
- コロナ禍においてオンライン授業の質の向上を図られた。また教育内容の質を高めるためのカリキュラム見直しや社会人の基礎能力を高めるための地域協働事業に取り組んだ。
- ウィズコロナ時代における就職活動の状況把握のため、定期的なセミナー情報の発信や学生の状況把握と併せ、専任のキャリアコンサルタントによる個別相談を行うなど体制を強化したことにより、全国平均を上回る就職内定率を達成した。
- 授業内容・方法の改善が行われFDの取組が推進されている。

(課題となる点等)

- コロナ禍での学生募集活動の制約があるなか、全国から多数の志願者を集めたことは評価できるが、地元である北近畿地域からの志願者が増えるよう、引き続き福知山市と連携しながら、より一層努力いただきたい。

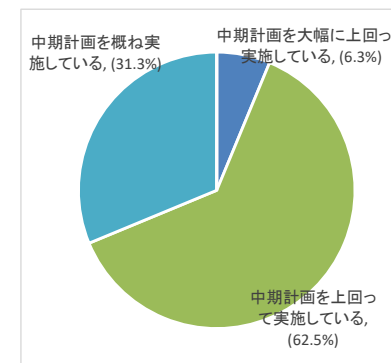
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.8

(1) 評価理由

小項目別評価は、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.8となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	16	1	10	5	0	0
	構成比(%)	(6.3%)	(62.5%)	(31.3%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 地域経営学部、情報学部ともに、各学部の人材育成目標を達成するため、特色あるカリキュラムを提供し、授業評価アンケート等を通じて、教育効果を測定するとともに、FD活動を継続することにより授業改善にも努めたことは評価に値する。
- コロナ禍において、学生の経済支援、生活支援、メンタルヘルス対応など、教職員の細やかな努力で学生の修学環境を維持した。
- 情報学部の設置の際は、福知山公立大学新学部設置に向け、外部有識者によるアドバイザーボードを設置しどのような学部設置が望ましいか有識者からの意見を反映し、新学部設置準備委員会を設置した。
- 令和6年度の設置を目指す大学院修士課程の趣旨・内容を大学院設置準備委員会で検討し、大学院の特色、教員組織などの案をまとめた。

(課題となる点等)

- コロナ禍という特異な状況ではあるが留学生の受入れを実現できていない。異なる文化や感性をもつ外国人と共に学び共に研究を深めていく過程は、感受性の豊かな時期の学生にとって、貴重で重要な経験となり、豊かな人間性を育み、地域に根差し世界を視野に活躍するグローバル人を輩出するために非常に重要であると考え。そのためにも令和3年に開設された国際センターの活動に期待したい。

2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

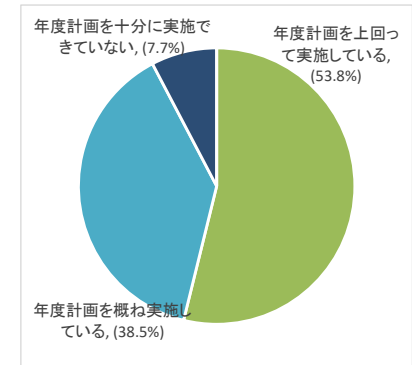
令和3年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.5

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.5となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	13	0	7	5	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(53.8%)	(38.5%)	(7.7%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 北近畿地域を中心として、委託・共同事業を目標を上回る形で獲得した。
- 自治体との連携強化、地域協働型教育研究の推進、情報学部による小中学生向けプログラミング教室等の地域に根差した様々な取組により、地域課題解決に貢献した。
- 令和3年に設置された「地域防災研究センター」が水害が多い福知山の大学に設置された意義は大きい。その研究活動が地域の防災・減災に活かされることを大いに期待する。

(課題となる点等)

- 地域研究プロジェクトの取組を実践的成果へ更に転換していくことが求められる。

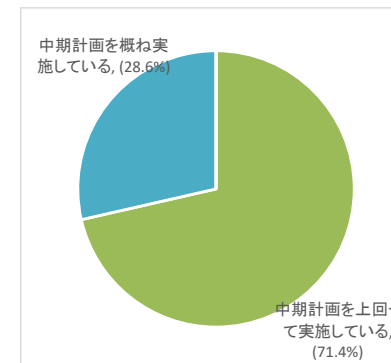
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.7

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.7となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	5	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(71.4%)	(28.6%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 地域協働型教育研究の推進を柱にして、6年間における自治体・企業等からの共同研究、受託事業等の総額が5,000万円を超えたことは評価できる。
- 地域経営学部に加えて、情報学部を創設し文理連携型を推進したことで、地域課題解決へのアプローチの幅が広がった。
- 地域や企業、団体、自治体等との連携を進め、地域連携拠点を設置したことは評価できる。

(課題となる点等)

- 研究活動を充実させていくために、研究者と共に、それを支える事務職員の充実が必要である。

3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置

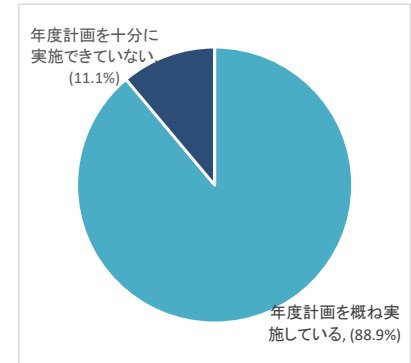
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
2.9

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が2.9となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	9	0	0	8	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(88.9%)	(11.1%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 7人の連携研究員を受け入れ、市からの委託事業推進に反映させるなど、地域課題解決に寄与した。

(課題となる点等)

- 更に、地域研究プロジェクトの取組を地域と協働した活動に活かしていくこと、地域の課題解決などの実績につなげていくことが求められる。

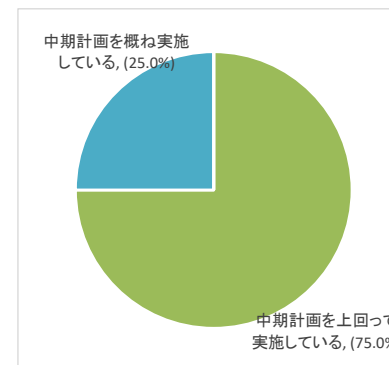
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.8

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.8となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	8	0	6	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(75.0%)	(25.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 地域社会をけん引する人材育成のため、社会人向け公開講座の開催など、生涯学習受講機会を幅広く提供した。
- まちかどキャンパス「吹風舎」を開設し、学生スタッフが主体となり、様々な事業を実施した。
- 常に地域貢献を意識した研究や取組を行われてきた。

(課題となる点等)

- 大学が地域貢献のための研究や取組を行っていることをさらに市民へ広報し、大学の認知度を高めるとともに、市民が大学と連携して活動を行う機会を増やしていただきたい。

第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

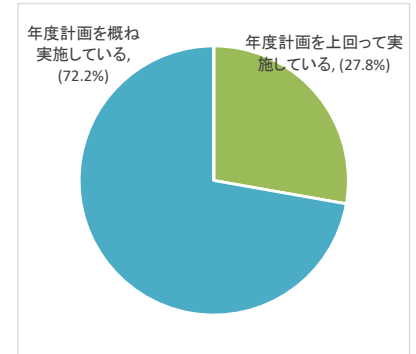
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	18	0	5	13	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(27.8%)	(72.2%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 勤怠管理システム「YASUMINA+」、稟議決裁システム「ERINGI」を開発・運用させ、業務の効率化を実現した。

(課題となる点等)

- 教職員の不足が依然として課題であり、大学院の設置等、教職員に過度の負担が増えないように、引き続き検討をいただきたい。

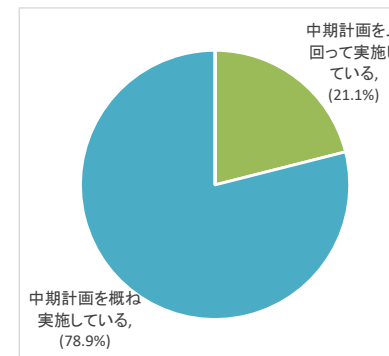
中期目標評価	評価基準
B	中期目標の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期目標の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	19	0	4	15	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(21.1%)	(78.9%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 教職協働チームにより、施設整備の検討を進めるなど、大学院設置計画を進捗させた。
- 外部意見や地域のニーズを積極的に取り込むなど、地域や市民に開かれた大学運営を推進している。

(課題となる点等)

- 教員の人事評価制度の構築に係る努力が認められるが、まだ制度の導入には至っていない。

第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

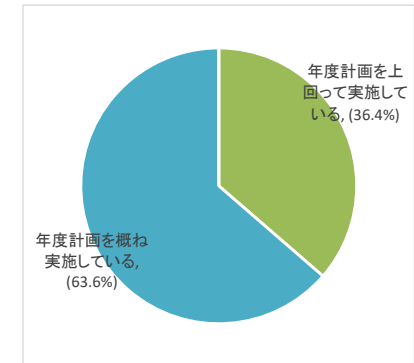
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.4

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.4となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	0	4	7	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(36.4%)	(63.6%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 情報学部開設によって入学定員が増加し、定員を充足させて、自己財源を確保されている。
- 科学研究費獲得に向けたFDの実施や研修への参加を通して、採択率が約30%となり、昨年度よりも飛躍的に上昇するなど外部資金獲得のための取組に力を入れている。引き続き、外部資金獲得ための取組に力を入れていただきたい。
- 入学者の確保に向けて、高校訪問等の拡大とWebを活用した情報発信の両面から努力されている。

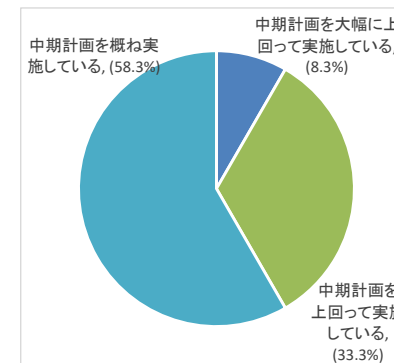
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.5

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.5となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	12	1	4	7	0	0
	構成比(%)	(8.3%)	(33.3%)	(58.3%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 開学以来、入学定員の増加に努め、平成29年度からは地域経営学部の入学定員を50人から120人とし、令和元年11月に情報学部の設置認可を受けたことで令和2年度から地域経営学部・情報学部合わせて入学定員が200人となり、財政的な安定が図られている。
- 科学研究費の採択率が令和3年度には約30%になるなど、外部資金を獲得するための工夫や取組を実施されている。
- 大学施設の有効利用の推進と利用料金の適正化が図られている。

(課題となる点等)

- 中長期的な視点からも財務面での基礎となる志願者確保が求められる。特に、地元である北近畿地域からの志願者が増えるよう、引き続き福知山市と連携しながら、より一層努力いただきたい。
- 自主財源確保の観点からも外部資金獲得の一層の努力が期待される。

第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置

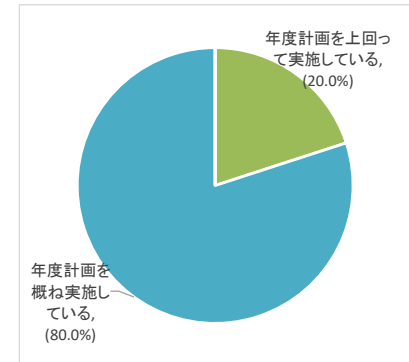
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	0	2	8	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(20.0%)	(80.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 福知山市広報誌や新聞、大学広報誌などの効果で、認知度及びイメージが上がってきていると思われる。
- 年度計画に達成度指標(数値目標等)を盛り込まれたことにより評価がしやすくなった。

(課題となる点等)

- 達成度指標(数値目標等)を年度計画の目的と合致するよう設定いただきたい。

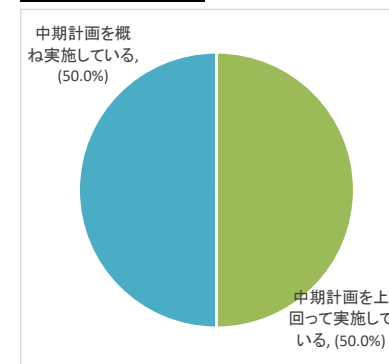
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.5

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.5となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	0	5	5	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(50.0%)	(50.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 公立化後速やかに(公財)大学基準協会の認証評価を受審され、「適合」の認定を受けられた。

(課題となる点等)

- 大学の認知度の向上のため、今後もさらなる広報活動の拡充に努めてほしい。
- 業務実績のできる限りの数値化と、地域にもたらした実績がわかるようにしていきたい。

第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

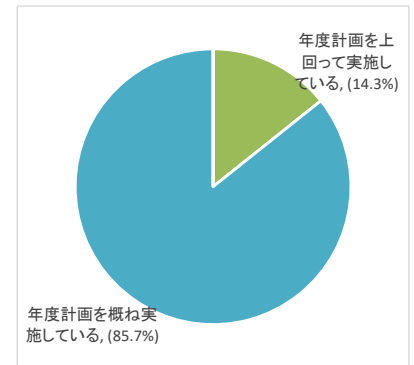
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	1	6	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(14.3%)	(85.7%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 教職員の業務負担が懸念され健康管理が必要な中、教職員の健康診断受診が100%であった。
- 「ハラスメント防止等に関するガイドライン」をポータルサイトや学生便覧で周知し、外部講師による研修を行うなど、ハラスメント対策防止の強化が図られた。

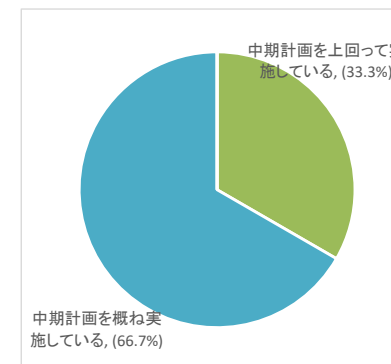
中期目標評価	評価基準
B	中期目標の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期目標の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	6	0	2	4	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(33.3%)	(66.7%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 将来を見越して、設備改修の中長期的な方針を策定された。

第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

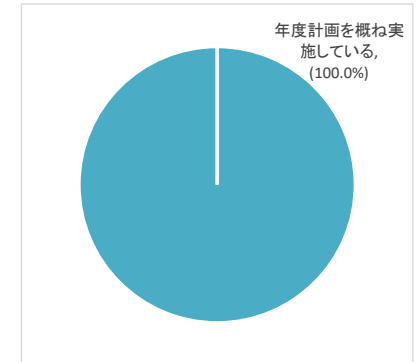
令和3年度評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	4	0	0	4	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(課題となる点等)

- 学内ネットワークの環境の整備が遅れている。

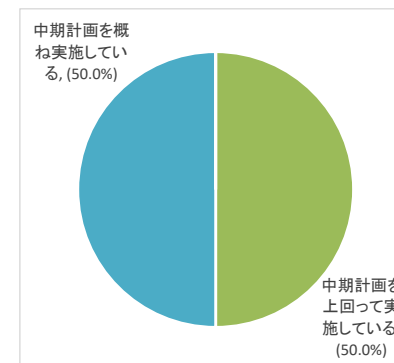
中期目標評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.5

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.5となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		中期計画を大幅に上回って実施している	中期計画を上回って実施している	中期計画を概ね実施している	中期計画を十分に実施できていない	中期計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	4	0	2	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(50.0%)	(50.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 学内施設等の改修・修繕が確実に行われている。

(課題となる点等)

- 学生の満足度を高める厚生施設が依然として不足しているため、中長期展望のもと、重点的に取り組まれない。